



一中だより

校訓 「自ら考え 自ら行い 自ら責任を」

豊中市立第一中学校
学校だより 第9号
令和3年(2021年)
8月27日
発行責任者 高橋武彦

せいちょう がっき ひとまわり成長する2学期にしよう



35日間の夏休みを終え2学期が始まりました。過ぎてみれば、あっという間の夏休みだったと思いますが、この夏休み中に東京オリンピックが開催されたことは記憶に新しいことだと思います。新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、賛否の声がある中での開催となりました。

オリンピックでは数多くの競技が行われ、たくさんの「感動」があり、たくさんの「感謝」がありました。私が感動した場面から3つ紹介します。



↑8月25日、始業式の日の一中校舎

1つ目は、卓球・混合ダブルス準決勝で水谷選手と伊藤選手のペアがドイツペアを破った試合です。最終セットまでもつれ込み、2対9となり、相手にあと2点取られれば負けるという状況からの大逆転勝利でした。相手に7回もマッチポイントを取られながらも、諦めずに耐えて耐えての勝利に胸が熱くなりました。

2つ目は、陸上競技の男子400mリレー決勝で得意のバトンが繋がらなかった日本チームのことです。日本チームは練習を重ね「世界一」と言われる息の合ったバトンをすることで金メダルを狙っていましたが、第1走者から第2走者にバトンが繋がりませんでした。予期せぬことに呆然と座り込んでいる第1走者の多田選手に第3走者の桐生選手が近づき多田選手の肩に手をそえ声をかけ、一緒に歩く場面を見て「いいチームやなあ」と心が温かくなりました。

3つ目は、日本選手も外国選手もたくさんの選手が「感謝」の言葉を話されていたことです。コロナ禍の中、開催してもらったことへの感謝、たくさんの人に支えてもらっていることへの感謝、応援してもらっていることへの感謝などでした。

人生、「ありがとう」の感謝の気持ちと「感動」することが大事であることは皆さんに何度も言ってきたことですが、オリンピックを通して改めて大事だと思いました。

オリンピックに続き、東京パラリンピックが8月24日(火)～9月5日(日)までの日程で行われています。様々な障がい乗り越えたパラリンピックの選手の活躍が始まっています。私自身、パラスポーツの面白さや迫りに強くひき付けられており、オリンピックと同じように、たくさんの勇気と元気をもらっています。

いっぽう なつやす ちゅう しんがた かんせんかくだい つづ ぜんこく かんせんしゃすう れんじつ まんにん こ
一方で、夏休み中も新型コロナウイルス感染拡大は続き、全国の感染者数は連日2万人を超え、
おおさかふ れんじつ せんニン こ きんきゅうじたいせんげん はつ にち えんちよう
大阪府では連日2千人を超えています。緊急事態宣言は9月12日まで延長されています。
また、おおあめ きゅうしゅう ちゅうごく しこく ちゅうぶちほう かくち おお ひがいで
また、大雨のため九州・中国・四国・中部地方など各地で大きな被害が出ています。

みなさんの夏休みは充実したものになったでしょうか。夏休みの宿題に頑張っ取りくんだ
ひと かつどう がっこうがい かつどう う こ ひと おも い ま じかんが
人やクラブ活動、学校外での活動などに打ち込んだ人がいたと思いますし、あつと言う間に時間が
すぎ、やろうと思っていたことができなかった人もいるでしょう。

そこで思い出してほしいことは、1学期の終業式で話した「夏休みの35日間、何かひとつ
かんたん なつやす がつき しゅうぎようしき はな なつやす にちかん なに
簡単なことをやり続ける」ということです。35日間、何かひとつのことをやり切った人はいた
でしょうか。やり切った人はきっと小さな達成感が得られていると思います。途中でやめてしま
った人は、かんたん なつやす いがい つづ たいへん じっかん
簡単なことでも意外に続けることは大変だということを実感したのではないでしょう
か。こういった実感をする 것도 大事なことだと思います。

どんな2学期にするかは自分次第です

しんがた かんせんぼうしだいきく がっこうせいかつ がつき つづ がまん がっこうせいかつ
新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの学校生活が2学期も続きます。我慢の学校生活
となりますが、「がまん がっこうせいかつ かんが の こ かんが
我慢させられている」と考えるのか、「乗り越えてやろう」と考えるのか、
では大違いですね。おおちが
コロナだから「できない」ではなく「できる」ことをやってみましょう。

いま とうきよう かいさい さまざま こんなん ちよくめん の こ
今まさに東京パラリンピックが開催されています。様々な困難に直面しながらも乗り越えら
れているパラリンピアン（パラリンピックの選手）から学ぶことは多いと思います。

校訓の「自ら考え、自ら行い、自ら責任を」の実践を

ほんこう こうくん みずか かんが みずか おこな みずか せきニン せいしん かんせん かくだい
本校の校訓「自ら考え、自ら行い、自ら責任を」の精神は、コロナの感染が拡大
し世の中が大きくなってきている今ほど必要な時はないと思います。ぜひ「自ら考え、
みずか おこな みずか せきニン せいしん きも めい かん あらなみ の こ
自ら行い、自ら責任を」の精神を肝に銘じ、果敢に荒波を乗り越えていきましょう。
いっちゅう こうくん じぶん せいかつ べんきよう かつどう なら こと なか じっせん おも
一中の校訓を自分の生活や勉強、クラブ活動、習い事などの中で実践をしてほしいと思います。

1年生・2年生のみなさん、

こうくん みずか かんが みずか おこな みずか せきニン こころが べんきよう かつどう ぎようじ せつきよくてき
校訓「自ら考え、自ら行い、自ら責任を」を心掛け、勉強にもクラブ活動にも行事にも積極的
に挑戦し、ひとまわり成長する2学期にしてください。

3年生のみなさん、

ちゅうがくそつぎようご しんろ ほうこうせい き がつき こうこう けんがくかい せつめいかい い
中学卒業後の進路の方向性を決める2学期です。高校などの見学会や説明会などに行き、
ほごしゃ ほう たんにん せんせい はなし しんろ かんが さいご じぶん き
保護者の方や担任の先生とよく話をして、進路についてよく考えてください。最後は自分で決
めることが大事です。

一中生のみなさん、

なやみ しんばい こま ひとり かが こ そうだん
もし悩みや心配なこと、困っていることなどがあれば、一人で抱え込まず相談をしてくだ
さい。いっちゅう せんせい はなし き おうえん
一中の先生たちはいつでもみなさんの話をお聴きます。応援しています。

新型ウイルス感染予防をより一層徹底しましょう

夏休みの間、新型コロナウイルス感染拡大は収まるどころか、急拡大が続き、大阪府に発令されている緊急事態宣言は9月12日まで延長されています。デルタ株の感染力を考えると、2学期はより一層のコロナ感染防止対策をしながらの毎日になります。生徒のみなさんの協力がなくてはなりません。

テレビで、ある医科大学の先生が次のような話をされていました。

「大雨特別警報の時は『皆さん河川に近づかないように』と言わなくても近づかないですね。それと同じくらいウイルスが街にあふれていますが、見えないから街に出て行ってしまいます。自分の命の危険と向き合うとは思っていない人たちが、生死と向き合う事態になっているんです」

■「3密防止」と「基本的な感染防止対策」をより一層徹底しましょう

①基本的な感染防止策を徹底しましょう。

「毎朝の健康観察」「マスクの着用」「手洗い」「換気」「人との距離を取る」

②昼食時間が特に要注意です。話はせず、前を向き静かに食べましょう。食べている時以外はマスクをつけましょう。

③教室・廊下・体育館は「常時換気」が基本。エアコンをつけて、窓・扉をできる限り全開にしましょう。

★運動時のマスク着用は不要です★

・運動時(体育の授業や運動部の活動等)はマスクの着用は不要です。ただし、「他の生徒との距離を十分確保する」「近距離での会話を控える」などの感染症対策を必ず徹底しましょう。

・運動時にマスクの着用を希望する場合、もちろん着用しても構いません。ただし、以下の点を守りましょう。

1. 家庭用マスクを着用しましょう(医療用や産業用マスクを着用しての運動は不可)。
2. 呼吸が激しくなるような運動への参加は避けましょう。
3. 体調の変化に注意して、必要に応じてマスクを外して休憩しましょう。

④ワクチン接種について

ワクチン接種をする・しないは各家庭の判断です。接種するかしないか、によって差別やいじめなどが起きないように注意しましょう。

※ワクチン接種や副反応により登校できない場合は、欠席ではなく「出席停止」となります。

⑤生徒のみなさんや同居者の方が次の場合、登校を控えていただき、学校にお知らせください。「欠席」ではなく「出席停止」となります。

- ・「新型コロナウイルス感染症に感染した場合」
- ・「濃厚接触者と認定された場合」
- ・「PCR検査を受ける(受けた)場合」
- ・「発熱などの風邪症状がある場合」

ぶかつどう げんそくきゅうし
⑤部活動：原則休止

※ただし、公式戦やコンクールへの出場、発表の場への参加及び参加に向けての活動にあたって、部活動の実施が必要と判断する場合には、感染拡大防止対策を徹底し実施します。

■期間：公式戦やコンクールへの出場、発表の場へ参加する日の当日から1週間前の期間に限る。

■時間：平日1時間以内、土日祝は2時間以内

※公式戦やコンクール等で2時間以上の活動となる場合もありますが、無理のないように活動します。

※休養日(ノークラブデー)は平日少なくとも1日、土日とも1日以上。公式戦などにより休養日が確保できなかった場合、他の日に休養日を振り替えます。

■活動内容：感染リスクの高い活動(生徒どうしが近距離で向き合う活動、大きな発声や激しい呼吸を伴う活動、身体接触を伴う活動など)は実施しません。

■発熱や風邪症状がある場合は、活動への参加を見合わせてください。

■生徒どうしによる飲食を控えます。ただし、公式戦等に参加し昼食を取らざるを得ない場合は、黙食等、感染防止対策を講じます。更衣時には少人数で、身体的距離を確保するよう指導します。

※公式戦やコンクール等に参加する際は、主催団体が十分な感染症対策を講じていることを確認するとともに、参加にあたっては、学校においても十分な感染症対策を講じます。

※部活動の参加は強制されるものではありません。参加に不安のある人は顧問の先生に相談をしてください。部活動に参加したものの途中で不安を感じた場合も、無理せずに顧問の先生に伝えましょう。

■感染による偏見・差別につながらないよう、人権尊重・個人情報の保護をよろしく願います。